



● 今月のご紹介者

カシハラ鐵構株式会社 代表取締役社長 桃井 平 氏

『孤狼の血』

著 / 柚月裕子

出版社 / 角川文庫



[あらすじ]

昭和六十三年、広島県呉原（架空の都市）。所轄署の捜査二課に配属された新人の日岡は、ヤクザとの癒着を噂される刑事・大上のもとで、暴力団系列の金融会社社員が失踪した事件の捜査を担当することになった。飢えた狼のごとく強引に違法行為を繰り返す大上のやり方に戸惑いながらも、日岡は仁義なき極道の男たちに挑んでいく。やがて失踪事件をきっかけに暴力団同士の抗争が勃発。衝突を食い止めるため、大上が思いも寄らない大胆な秘策を打ち出す…。正義とは何か、信じられるのは誰か。日岡は本当の試練に立ち向かっていく。

Q1：この本を手にとられたきっかけについて

忙しい毎日の中、気分転換になるような「絶対に楽しめる本」を探して、書店を歩いているときに目についた本です。『常識外れのマル暴刑事と極道の、プライドを賭けた戦い。作家、マスコミほか多くの賞賛を集めた、圧巻の警察小説』という紹介に興味を持ちました。

Q2：この本をお薦めしたい理由について

本を読んで、久しぶりに興奮しました。疾走感のあるストーリー展開に、ページをめくる手が止まらず、昭和の男くさい男たちの世界に魅了されました。『わしらの役目はのう、ヤクザが堅気に迷惑かけんよう、目を光らしとることじゃ。あとはやりすぎた外道を潰すだけでええ』大上刑事のこの台詞に物語が集約されているように思います。

どんな難所にあっても、力業でヤクザ達をねじふせる大上刑事。規律や法律にとらわれず信じた道を進む、だけど優しい一面もある。ただただ、カッコイイの一言です。監察からのスパ

イとして来た日岡がいつの間にか大上側に立っていて、その思いは引き継がれ、立派な後継者となり、監察官である上司に『本物の警察官の心得は、大上さんからみっちり仕込まれました』とつぶやく。子供の頃に憧れたヒーローがここに居た、と懐かしく思いました。

Q3：どういった方にお薦めしたいですか

日常に疲れた昭和の男たちに読んでもらいたいです。人と人とのつながりが薄くなった今にあって、歴然と仁義が存在することに憧れ、理不尽でやりきれないことに怒り、思いやりの心に癒されるのではないのでしょうか。

カシハラ鐵構株式会社

カシハラ鐵構 株式会社

本 社：大阪市西区南堀江3丁目14-12
イイダ第2ビル7F

資本金：3,480万円

従業員数：105名

事業内容：鋼構造物の制作、天井クレーンの設計・製造・メンテナンス・補修・修理 他